

株主のみなさまへ

2014年3月期 第2四半期

2013年4月1日 ➡ 2013年9月30日



Healthcare



Enterprise



Service Business



Net Business

United Innovation



前年同期と比較して大幅な増収を達成。成長はさらに加速し、中期経営計画の達成に向けて邁進しています。



代表取締役社長
竹原 教博

Q 第2四半期を振り返っていかがでしたか？

中期経営計画の重点3事業、ネットビジネス、ヘルスケア、GRANDITを中心に、「成長」に向けて継続的に打ってきた施策の成果が着実に現れてきています。

第2四半期の決算は、連結売上高178億円、連結営業利益と連結経常利益が9.3億円、連結四半期純利益が5.4億円となりました。前年同期比で連結売上高が約15億円の増収、利益面ではそれぞれ約1億円の減益でした。

セグメント別に見ますと、医療・企業・公共機関向け事業のITサービス・セグメントでは、一部顧客企業向けシステム構築・運用での減収はあったものの、重点事業のヘルスケア分野における業容拡大により、セグメント全体では増収となりました。また、不採算事業譲渡などの事業構造改革により営業利益が改善する一方で、重点事業のヘルスケア、GRANDITの成長加速に向けた先行投資を継続しています。

一般消費者向けのネットビジネス・セグメントは、コミックを中心とした電子書籍サービスが好調で増収となりました。また、同サービスの成長のため積極的な広告の出稿や新規サービスへの資源投入を実施しています。

Q ネットビジネス事業の分社化の狙いと今後の事業展開を教えてください。

インフォコムグループは、携帯電話におけるコンテンツ配信の黎明期からネットビジネス事業に取り組み、現在では電子書籍サービスをはじめとして、売上/利益ともにグループを支える事業に成長しました。ビジネスのスピードが速く急拡大を続けるネットビジネス市場において、更に大きな成長を実現するため、「機動的・積極的なM&Aによる事業規模の拡大」および「権限移譲による事業推進力強化と意思決定のスピードUP」を目的に株式会社アマタスとして分社化しました。

ネットビジネス事業の核となるのは電子書籍サービスです。10月末現在、スマートフォンおよび従来型携帯電話において、3通信キャリアの電子書籍

カテゴリーのコミックジャンル公式メニューで1位を独占し、月間売上が過去最高を更新中の「めっちゃコミック」を中心に、今後もお客様が求める作品やサービスの拡充を進めます。

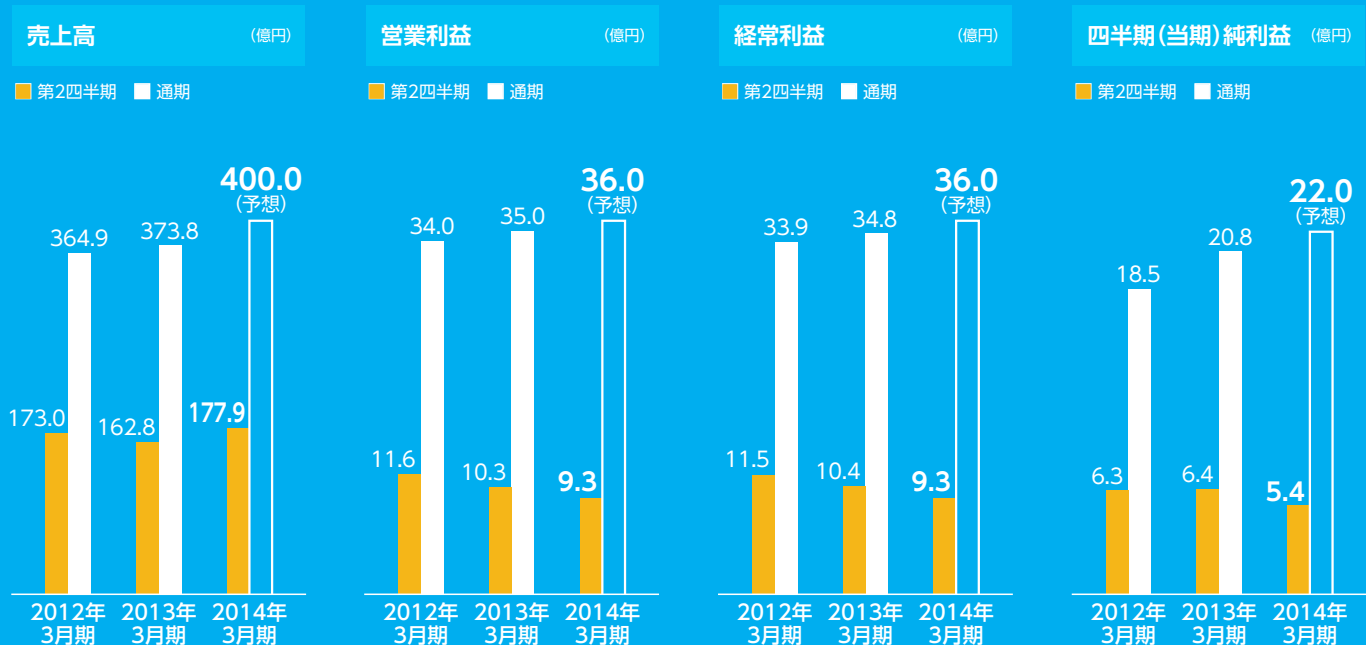
また、ゲーム配信サービスでは、スマートフォン向けの作品の拡充を進めています。海外の有名なゲームの国内展開に加え、国内の有力ゲームの海外展開など、海外事業も積極的に展開します。

Q 通期に向けた展望をお願いします。

第2四半期までの連結業績は、投資を計画より前倒しで先行させた結果であり、通期業績には影響はないと考えています。通期連結業績予想である連結売上高400億円、連結営業利益/連結経常利益36億円、連結当期純利益22億円の達成に向けて、第3四半期以降も中期経営計画および今年度の経営計画基本方針に基づき各事業に注力し、着実に存在感のある企業グループへの成長を図ってまいります。

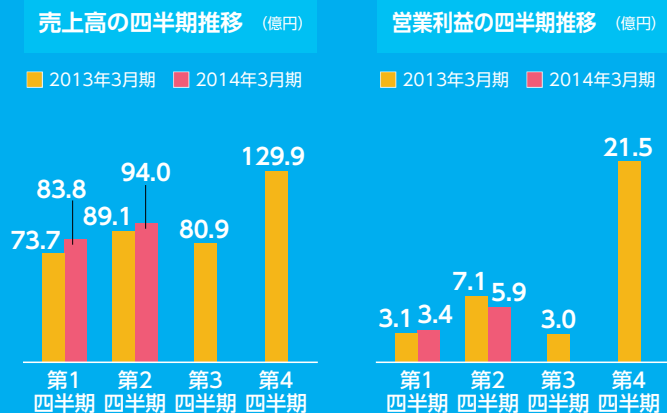
株主のみなさまには、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



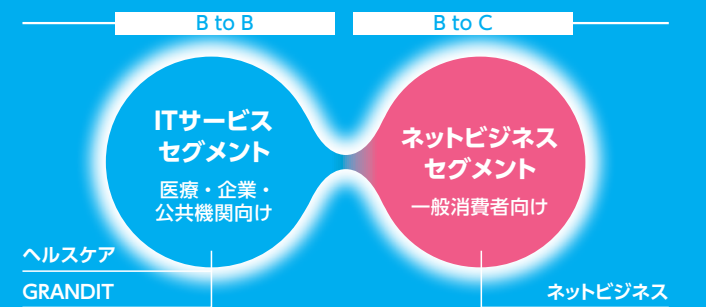
※通期および四半期業績の特性について

わが国では、事業会計年度を4月から3月までと定める企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。このため売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。



中期経営計画

●セグメント構成と重点3事業



「成長」に向けギアチェンジ！

重点3事業を推進し目標達成を目指す。



ITサービス・セグメント（医療・企業・公共機関向け分野）

連結売上高 **110.9**億円（前年同期比3.5%↑）

- 一部顧客企業向けは減収も、ヘルスケア事業の業容拡大により増収

連結営業利益 **6.0**億円（前年同期比4.2%↓）

- 不採算事業譲渡等の事業構造改革による改善、重点事業の成長加速に向けた先行投資の実施

重点事業領域の上期の施策と下期の取り組み

ヘルスケア

上期の施策

- 放射線部門システム領域におけるシェア拡大を目指し営業強化
- 医療機関向け新製品・サービスの開発を継続
- 医薬品業界向けサービスの強化を目的に業界有力企業と共同出資し連結子会社を設立

下期の取り組み

- 放射線部門システム領域の営業／導入力強化
- 手術部門システムの受注増
- 製薬向けビジネスの拡大

PICK UP

GRANDIT

上期の施策

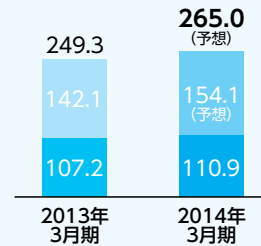
- 多言語対応、消費税対応などの機能強化を継続
- 業界有力企業との業務提携など事業推進体制の強化を継続

下期の取り組み

- 製品&サービスの段階的強化
- パートナー社製品との連携による製品・サービスの強化
- 販売パートナーの拡充を進め販売力を強化

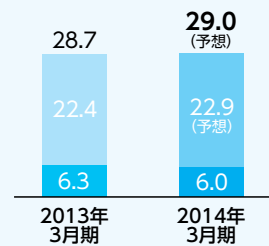
連結売上高 (億円)

■上期 ■下期



連結営業利益 (億円)

■上期 ■下期



PICK UP

製薬企業向け営業支援システムの開発に強みを持つ株式会社ミュートスと提携し、同業界向けCRM事業の企画・営業機能の強化を行うため、共同出資によりインフォミュートス株式会社（連結子会社）を設立しました。

ネットビジネス・セグメント（一般消費者向け分野）

連結売上高 **66.9**億円（前年同期比20.4%↑）

- 電子書籍の好調により増収

連結営業利益 **3.1**億円（前年同期比19.3%↓）

- 電子書籍の成長のため積極的な広告の出稿と、新規サービスへの資源投入の実施

重点事業領域の上期の施策と下期の取り組み

ネットビジネス

上期の施策

- 電子書籍サービスが通信キャリア公式メニューで1位を独占
- ゲーム配信サービスは海外市場の人気ゲームを国内に配信開始

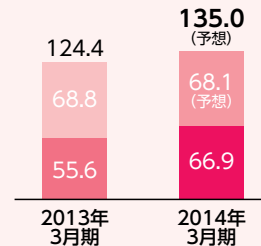
下期の取り組み

- 女性読者層に好評な一般コミックの拡充
- 電子書籍ページビューサービスの開始
- 国内外の高品質なデジタルコンテンツの輸出入を強化

PICK UP

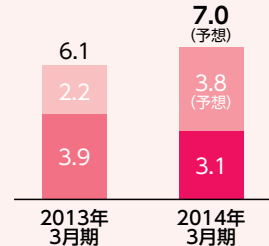
連結売上高 (億円)

■上期 ■下期



連結営業利益 (億円)

■上期 ■下期



PICK UP

韓国の文化産業の振興発展を支援する政府系機関「韓国コンテンツ振興院」にて採択された韓国のスマートフォン向けゲームの日本市場独占配信を開始しました。

インフォコムグループのネットビジネス事業を担う **株式会社アムタス**



なくても生きていける。でもあったら毎日が潤う。

そんな“楽しいひととき”を提供することで
より豊かな社会づくりに貢献します。

トップメッセージ

モバイルとインターネットを利用した個人の楽しみかたはこれからますます多様化して行くことが想像されます。

私たちはモバイルでの楽しみを追求し、みなさまそれぞれの自由時間に合わせた“ちょっと楽しいひととき”をご提供して行きたいと考えています。

インフォコムグループのB2Cビジネスの新しいかたち、お客様と同じ目線から“楽しいひととき”を創り出すアムタスにご期待ください。

株式会社アムタス 代表取締役社長 **黒田 淳**

アムタスが目指すところ

1 より「楽しいひととき」を。→「楽しいひととき」の進化

- 日本最大規模の電子書籍配信サービス「めっちゃコミック」のサービス充実。

2 もっと「楽しいひととき」を。→「楽しいひととき」の新化

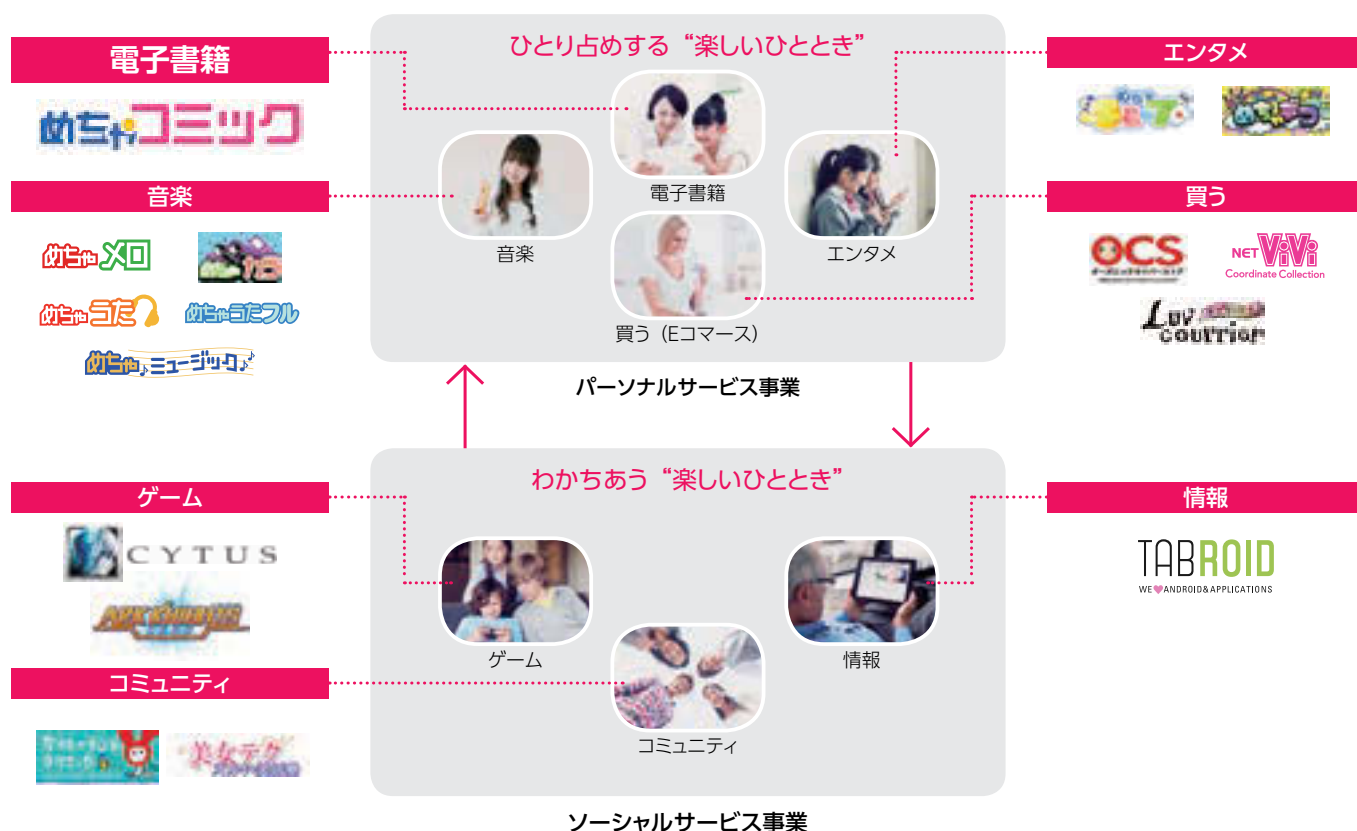
- ソーシャル・カジュアルゲーム開発強化と配信サービス加速。
- Webサイトの利用者が生成するサービスの開発強化。

3 さらに「楽しいひととき」を。→「楽しいひととき」の伸化

- 日本発コンテンツの海外向け配信、海外コンテンツの国内配信の拡大。
- 低年齢/高齢向けサービスの開発推進。

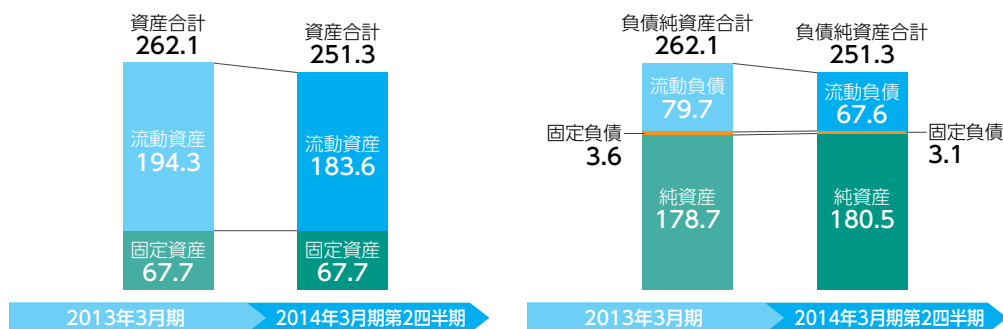
アムタスの事業領域

アムタスは、生活者一人ひとりの“自由な時間”を“楽しいひととき”に変えてしまう魅力的なサービスを、2つの事業領域において提供していきます。



連結財務状況 Consolidated Financial Data

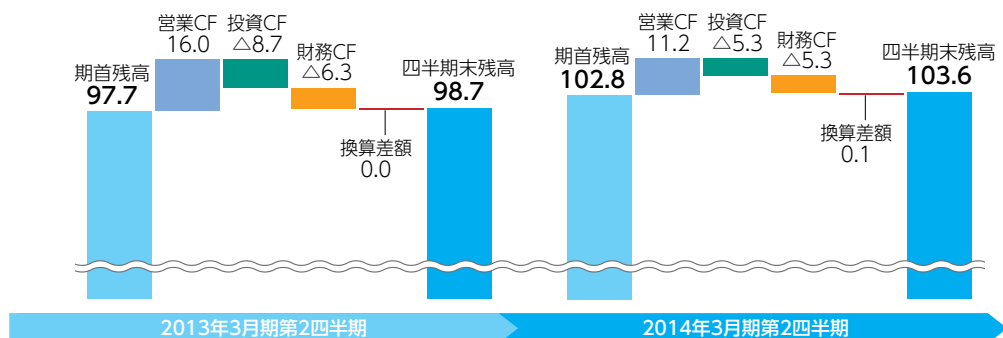
連結貸借対照表の概要 (億円)



POINT

売掛金の減少、法人税の支払いなどにより総資産が減少し、自己資本比率が向上。そのため、財務の健全性は確実に向上しています。

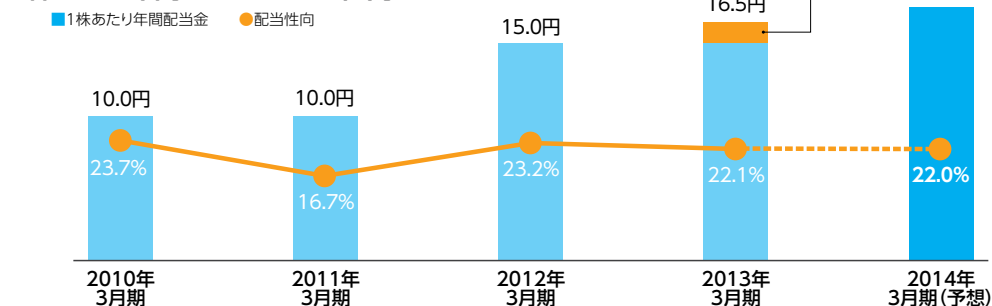
連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (億円)



POINT

営業で稼いだキャッシュ・フローは、投資と株主さまへの還元で使用しました。

1株あたり年間配当金 / 配当性向



POINT

1株あたり年間配当金は17.5円と、前期比1円の増配を予定しています。

IRインフォメーション

株式の分割、単元株式数の変更について

当社は、流動性の向上と投資家層の拡大を図るとともに、2007年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、2013年10月1日(火)をもって、普通株式1株を200株に分割するとともに、売買単位を1株から100株に変更しました。

普通株式

1株

200株

単元株式数

1株

100株

最低投資金額

200,000円
※株価は仮定の金額

100,000円

200分割で株価：1,000円
 売買単位：100株
 1,000円×100株
 =100,000円

会社概要

商号 インフォコム株式会社
(INFOCOM CORPORATION)
代表者 代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立 1983年2月
本社所在地 東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点 東京都渋谷区、大阪府大阪市、
神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期 3月末日
資本金 15億90百万円
社員数 711名 (単体) 1,288名 (連結)
グループ会社 国内10社、海外3社
(うち、持分法適用関連会社 国内1社)

株式情報

上場市場 (銘柄コード) 東京証券取引所JASDAQスタンダード (4348)
発行可能株式総数※ 576,000株
発行済株式総数※ 144,000株
株主数 4,967名
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会: 3月末日
期末配当金: 3月末日
売買単位※ 1株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂七丁目10番11号
0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL: <http://www.infocom.co.jp/>

※2013年10月1日付にて、普通株式1株につき200株の割合をもって株式分割を行っており、10月1日現在の発行可能株式総数は115,200,000株、発行済株式総数は28,800,000株となっております。また、単元株制度の採用を決議したことにより、売買単位は1株から100株に変更となっております。

役員

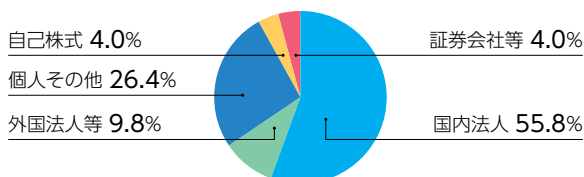
代表取締役社長 竹原 教博
取締役 里見 俊弘
取締役 大垣 喜久雄
取締役 西川 修
常勤監査役* 相原 洋介
常勤監査役 堀 克明
監査役* 谷田部 俊明

*印の監査役は社外監査役です。

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
帝人株式会社	79,400	55.13
自己株式	5,800	4.02
インフォコムグループ従業員持株会	4,705	3.26
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ビービー ノトリティー クライアント 613	2,156	1.49
日本証券金融株式会社	2,027	1.40
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,612	1.11
メロン バンク トリーティー クライアント オムニバス	1,474	1.02
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	1,046	0.72
個人株主	1,008	0.70
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	886	0.61
計	100,114	69.52

株式の所有者別状況



ホームページとFacebookページのご案内



インフォコムホームページ
<http://www.infocom.co.jp/>



インフォコム
Facebook公式ページ
<https://www.facebook.com/InfocomCorporation>

インフォコムグループの情報は、以下のインフォコムホームページよりご提供しています。IRページのスマートフォン対応とFacebook公式ページを開始しました。ぜひご覧ください。

インフォコム

検索

●今後のIRスケジュール(予定)

インフォコムでは迅速かつ正確な情報開示を心がけ、以下予定のほか個人投資家向け説明会など、株主・投資家のみなさまに向けたさまざまな活動を行っています。

2014年	
1月末頃	・2014年3月期第3四半期決算発表
4月末頃	・2014年3月期決算発表
5月下旬頃	・第32回定時株主総会招集ご通知発送
6月中旬頃	・第32回定時株主総会開催 ・次回「株主のみなさまへ」発送

岩沼「みんなの家」が竣工しました!

岩沼「みんなの家」とは …

インフォコムが、関係各位のご協力を得て宮城県岩沼市に建設した、地域の皆様が集い語り合うコミュニケーションの場、農業の復興を進めるための施設です。

インフォコムグループは、東日本大震災発生以降、被災地の復興を支援する各種活動を続けるとともに、IT事業を営む企業グループとして、継続的な復興支援が可能になる仕組み作りが必要と考え、現地との交流や関係各位との情報交換などを通じ具体的な活動について検討を重ねました。



▲岩沼「みんなの家」

継続的活動の具体化については、当社が特別賛助会員として参加している一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATIONの代表理事 中田英寿氏を通じ、「みんなの家」を各地につくる活動を推進する建築家 株式会社伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役の伊東豊雄氏をご紹介いただき、企画を進めました。その後、被災地の復興活動に尽力されている特定非営利活動法人がんばっと!! 玉浦（宮城県岩沼市 理事長 武田英之氏）をはじめ関係各位のご支援とご協力を得て、宮城県岩沼市へ「みんなの家」を建設しました。

「人々が集まり、語り合い、そこから何かが発信され、想像されていくようなコミュニティの建築」である「みんなの家」は、継続的な復興支援を検討するインフォコムの考えと合致するものでした。

インフォコムグループは、岩沼「みんなの家」を通じて地域との交流を深め、ITを活用した継続的な復興支援を進めます。

現在、Facebookを利用して、岩沼「みんなの家」で行われるイベントや利用の状況などの情報を発信していますのでご覧ください。

岩沼「みんなの家」所在地	宮城県岩沼市押分字南谷地24-1
岩沼「みんなの家」Facebook公式ページ	https://www.facebook.com/minnanoiie.iwanuma.infocom

株主さまアンケートにご協力ください。

株主のみなさまのご意見・ご要望をIR活動の参考にさせていただくため、「株主さまアンケート」を同送いたしました。お手数ですが、アンケートハガキにご回答の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

※お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。

お問い合わせ

インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL : 03-6866-3000(代) FAX : 03-6866-3900 E-mail : pr@infocom.co.jp

※当資料に記載された予想に関する情報は、2012年2月6日発表の中期経営計画、2013年10月29日発表の平成26年3月期第2四半期決算短信及び2014年3月期第2四半期決算説明会資料に基づくものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※当資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標又は出願中の商標です。

※当資料に掲載される情報、記事、写真等の無断複写、転載を禁止します。



この報告書は、適切に管理された森林から生まれたFSC®認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。